

平成18年度非核・平和に関する施策の自治体アンケートまとめ

2007/1/16

返送月日	自治体名	担当部署 回答者	1 今年度の重点施策は何でしたか。	2 非核・平和施策に関する予算はいくらでした	3 どのような被爆者援護施策を実施されました	4 どのような子どもたちへの平和教育施策を実施されましたか。	5 その他
1	1/11	綾部市 企画部 企画広報 永井	世界の恒久平和実現に向けて「世界連邦」実現への取組みを展開した。また世界連邦宣言自治体全国協議会(会長市)の立場から中東和平プロジェクトや世界連邦に本大会開催を支援した。	世界連邦運動協会への補助金8万円。地球市民の集い実行委員会への補助金70万円。世界連邦基金への積み立て3万円。中東和平推進経費119万円。	京都府原爆被災者の会綾部支部への活動補助金支出。	現在世界連邦運動協議会が中心になって、平和学習用教材を作成中。世界連邦宣言自治体全国協議会でも同様に童話(絵本)を作成中。平和学習教材として平成19年度において活用する計画。	
2	1/12	伊根町 総務課					非核・平和施策に関する要望書を平18.6.2受理。提出者は2006年原水爆禁止国民平和実行委員会代表・岩橋祐治氏。平18.6.21開催の第2回伊根町議会定例会で報告(要望書配布)。「非核平和宣言都市宣言に関する決議」平成元年9月27日 伊根町議会
3	12/28	宇治市 総務部 総務課 上田	【別紙1参照】	宇治市平和都市推進協議会への補助金 5,244,000円	京都府原爆被災者の会宇治支部に対し、団体運営費に対する補助金を支出している。(担当部署:健康福祉部地域福祉室地域福祉課)	【別紙1参照】	本市の平和事業は全て宇治市平和都市推進協議会(宇治市を含む16団体で構成)が実施している。
4	12/22	宇治田原町 総務課 植村	本町非核・平和都市宣言に基づき、核兵器の廃絶と世界の恒久平和を願った施策を展開。特に今年度は、町制施行50周年の節目の年であるため、50周年のテーマである「平和・感謝・希望」を具現化するため地域住民とともに事業展開を行い、その一つとして「平和の鐘」の制作に取り組む。	本町非核平和都市推進協議会への助成等。	被爆者や被爆地の実相を知り、平和の大切さや命の重さを学ぶことが、被爆者援護の第一歩であると考え、被爆地である広島市や長崎市に児童・生徒を派遣し、現地の学習で学んだことや感じたこと、また考えたことを発表会や広報紙面を通じて、地域住民に広く伝える等事業を展開。	児童・生徒を広島市に派遣する「広島平和体験学習」や、中学生を特使として派遣する「平和友好特使派遣事業」を行う。なお、今年度は少しでも多くの子どもたちに学習してもらうため、特使を2名から4名に増加し実施。また、学習の成果を広報紙に掲載するとともに「平和のつどい」を開催し、全住民を対象に感想文を発表している。	アメリカやロシアなどによる臨界前核実験に対して、その都度、厳重な抗議を行う。
5	12/29	大山崎町 総務部 政策推進室 中村	生命や平和の尊さについて学ぶ機会として、大山崎町を代表して町民3名と職員2名で広島平和記念式典に参加した。また、町民の方々に折っていただいた折鶴を原爆の子の像に奉納した。	予算:238,000円	原爆被災者の会に補助金35,000円を出している。	原爆の子の像に奉納する折鶴を町内の各小学校・保育所・幼稚園の児童生徒、園児が折ることにより、平和の意義をを考える機会とした。	
6	12/29	亀岡市 企画管理部 秘書課 服部	世界連邦平和宣言都市として、8月を平和月間と位置づけ、各種の平和事業を実施(下記のとおり) ・“ヒロシマ”に学ぶ親子平和の旅(=原爆被災地・広島で平和の尊さ、大切さを親子で学び考えるため実施) ・市内戦争史跡調査(=平和学習や地域学習の教材として活用するため、昨年のアンケート調査結果を基に、現地調査、聞き取り調査等を実施) ・「中東和平プロジェクトin kameoka」を計画(=イスラエルとパレスチナの紛争遺児等を本市に招き、市民を交えた平和交流事業として、同プロジェクトを計画。中東情勢の悪化により、パレスチナからの招待者の出城が叶わず、同プロジェクトについては結果的に中止に至ったが、同プロジェクトと併せて実施予定であった「平和祈念式典・市民平和交流大会」において、同プロジェクトの取組みを紹介することにより、世界の恒久平和実現に向けての想いを確認し合った)	平和推進事業経費として、1,446千円	被災者の会に対して活動補助	・「中東和平プロジェクトin kameoka」の計画及び「平和祈念式典・市民平和交流大会」の開催 ・“ヒロシマ”に学ぶ親子平和の旅 ・亀岡市・岡山市の中学生による平和交流会・平和のワークショップ ・平和について考えよう!PART5(図書展示・貸出)・平和・人権を考えるつどい・ヒューマンシネマ2006	
7	1/14	木津町 総務部 総務課 樋口	特に実施していない。	0円	特に実施していない。	学校教育の中での平和学習	北朝鮮が地下核実験を実施したと発表したこと、ミサイル発射をしたことに対し、それぞれ議長と町長の連名で抗議声明を出した。
8	1/12	加茂町 企画総務部 総務課 藤岡	特に何もできておりません。	23千円	何もできておりません。	何もできておりません。	本年3月の合併を控えて、新たな事業を検討することは何もできておりません。
9	12/27	京田辺市 総務部 総務室 吉川	京田辺市平和都市推進協議会として「平和のつどい・平和展」「平和ミュージカルの上演」。	京田辺市平和都市推進協議会の平成18年度の予算額は950千円。	実施していない。	市内小・中学校の児童・生徒から「平和」をテーマにした書道作品を募集し、平和展で展示した。	本市は、京田辺市平和都市推進協議会の構成団体として、事業を実施しています。
10	1/4	京丹後市 企画政策部 企画推進課 井上	特になし	予算なし	京都原爆被災者の会丹後支部の活動に対して補助金を交付。	特になし	北朝鮮の核実験に対し抗議を行ったところです。
11	1/9	京都市 総合企画局 政策推進室 香川	(1) 第10回世界歴史都市会議 本市は、世界49箇国、68都市が参画する世界歴史都市連盟の会長都市であり、その活動を通じて平和の大切さを広く世界に発信し、国際社会に訴えている。 平成18年11月には、オーストラリアのパララットにおいて開催された第10回世界歴史都市会議において、「世界平和という究極の目的を達成するために、歴史都市が、文化の向上、友好親善、自由で知的な都市間交流の促進に率先して取り組む」第10回世界歴史都市会議パララット宣言を行った。 (2) 「京都国際会議2006-芸術がデザインする平和のかたち-」 21世紀を豊かな人間性と思いやりに満ちた芸術の世紀にしたいという思いは、平和の願いとともに、広く人々の共有するところである。このような趣旨の下、平成18年10月に京都市立芸術大学において、「芸術がデザインする平和のかたち」をテーマとしたシンポジウム、コンサート、ワークショップ及び作品展などを開催した。	本市は、平和を都市の理念として位置付け、市政の様々な分野において、平和に関する取組を行っているところであり、非核・平和施策に関する予算としての積算は行っていない。	(1) 被爆者の援護 被爆者に対する本市独自の援護施策として、市営交通の減免、市民税の減免、国民健康保険料の減免、市営住宅の優先入居等を行っている。	(1) 平和関連図書コーナーの設置 これまで中央図書館で実施していた平和関連図書コーナーの設置を、平成18年度から市内全図書館(20館)へ拡大した。 (2) 子供向け「平和文庫」の設置 ひと・まち交流館 京都(京都市下京区)内の福祉ボランティアセンターに京都家庭文庫地域文庫連絡会が選書した「子どもに薦めたい内容の本」500冊を設置し、団体単位に無料で貸し出しを行った。 (3) 学校における平和教育の取組 学習指導要領を踏まえ、社会科、道徳等を通じて、国際社会に生きる民主的、平和的国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養うための教育活動を行った。	北朝鮮のミサイル発射や地下核実験はもとより、アメリカの臨界前核実験に対しても、核実験を中止するよう要請を行った。
							府民の生命と安全を守るべき京都府といたしましては、いかなる国のいかなる核兵器にも反対し、すべての国の核兵器を廃絶して、世界の恒久平和が確立されることを強く願っているところ。 核兵器禁止、完全軍縮をうたった「世界連邦平和宣言」が昭和35年3月7日に京都府議会で決議されており、この決議が府民全体の非核・平和の意思を宣言したものであると考えております。

返送 月日	自治体名	担当部署 回答者	1 今年度の重点施策は何でしたか。	2 非核・平和施策に関する予算はいくらでした	3 どのような被爆者援護 施策を実施されました	4 どのような子どもたちへの平和 教育施策を実施されましたか。	5 その他
12 12/29	京都府	総務部総務調整課				また、これまでから、インド・パキスタンの核実験や米国やロシアによる臨界前核実験に対しては、その都度、厳重な抗議を行ってきたところです。 特に、本年10月に実施された北朝鮮の核実験につきましては、国際平和を脅かすものであると認識しており、京都府は日本海に面して朝鮮半島の近くに位置し、このような暴挙は、京都府民の生活と安全を脅かすとともに、日本と環日本海諸国が平和と安全を希求していく上で、極めて遺憾な行為であり、京都府民の生命と財産の安全を守る立場から厳重に抗議する旨の声明を発表したところです。今年度も米国及びロシアの臨界前核実験に対して抗議を行ったところです。 原爆被爆者の援護につきましては、法に基づき健康診断の実施や各種手当を支給するとともに、府独自措置として、特別健康診断の実施や年末見舞金を支給しています。また、府営住宅の優先入居や府税(個人事業税)の減免制度も実施しています。	
13 1/12	木津町	学研企画課 樋口	特に実施していない	0円	特に実施していない	学校教育の中での平和学習	北朝鮮が地下核実験を実施したと発表したこと、ミサイル発射をしたことに対し、それぞれ議長と町長の連名で抗議声明を出した。
14 12/27	久御山町	総務部総務課 木村	・平和祈念集会 ・平和のための小・中学生広島派遣事業	・平和祈念集会(2千円) ・平和のための小・中学生広島派遣事業(1,352千円) ・平和啓発ポスター募集(60千円)		・平和のための小・中学生広島派遣事業 ・平和啓発ポスター募集	
15 12/21	城陽市	市長公室秘書課 森	毎年実施しています下記の項目4の事業を引き続き実施しました。	946千円	「京都府原爆被災者の会 城陽支部」に対し補助金を交付。	【平和の集い】 戦争の恐ろしさ、平和の尊さ等、平和の大切さを市民に呼びかけるべく、文化パルク城陽において平和の集い(平和啓発のパネル展示・ビデオ放映・折鶴コーナー)を実施しました。 【平和のための小・中学生広島派遣団】 小中学生を対象として、原爆の恐ろしさや平和の尊さについての平和学習をするため、広島方面に派遣し、被爆体験者講話の受講、平和祈念館、原爆ドーム等を見学しました。また、「平和の集い」で集まった折鶴を「平和の子の像」に【永遠の希い】戦争体験記「永遠の希い」を市内中学生の卒業時に各生徒に配布するとともに、同記を発行以来図書館、教育施設などにも配置し、戦争に悲しさ、愚かさ、生命の大切さについての啓発をしています。	・平成18年7月6日付けで、北朝鮮のミサイル発射に抗議する声明を発表。 ・平成18年8月31日付けで、米国に対し臨界前核実験に対する抗議文を送付。 ・平成18年10月10日付けで、北朝鮮の地下核実験に抗議する声明を発表。 ・広島・長崎原爆投下・終戦記念日に、原爆死没者及び戦没者並びに平和祈念の黙とうの周知と実施を行った。
16 12/24	精華町	総務部企画調整課 小笠原	毎年度、映画上映とパネル展示を行ってきたが、今年度は講師を招き戦争当時の生活や様子を生の声として伝えた。	町の実行委員会負担金 100,000円		毎年度、平和祭典実行委員会主催の平和祭典で、上記の取り組みを行い、主に子どもへのメッセージ性の強いものにした。	
17 12/27	長岡京市	企画部政策推進課 厚地	「平和を考える市民フォーラム'06」の開催。講演、アニメ映画、パネル展示他	1,351千円	被災者団体への補助金支出	「平和を考える市民フォーラム'06」での小学生参加プログラムの実施。 ・平和学習発表 ・戦時食「すいとん」の調理体験	・長岡京市民を対象とした平和祈念碑へ献納する折鶴の募集(本市の平和祈念碑へ献納後、広島市の原爆の子の像へ献納した) ・図書館「戦争と平和に関する図書の展示と貸し出し」 ・核実験に対する抗議(8月31日アメリカ合衆国。10月10日北朝鮮)
18 1/5	福知山市	市民人権部人権推進室 上田	恒久平和都市宣言に基づく核兵器廃絶及び世界恒久平和をめざす施策の展開	1,962,800円	・住民票など手数料の免除(制度利用の際のみ) ・被災者の会の活動に対する補助金交付	人材育成事業として次の平和事業を実施。 ・広島平和行動(小中学生対象) ・長崎平和学習の旅(高校生対象) ・国連10年沖縄人権文化体験研修(高校生対象)	・各国の核関連実験及び兵器の使用に対し、実施国の大使館などに向け抗議の意を表明。 ・日本非核宣言自治体全国協議会及び世界連邦宣言自治体全国協議会に加盟。 合併に伴い、庁舎前に「恒久平和都市宣言のまち福知山」の看板を新調しアピール。
19 12/27	舞鶴市	企画管理部企画調整課 高井	舞鶴港でのシベリア抑留者引き揚げ開始60周年と終了半世紀に合わせ、ミュージカル「異国の丘」を本市で初上演し、戦争の悲惨さと平和の大切	なし	被爆者援護法に基づき市の独自策として、対象者に対し、見舞金を支給している。	教育の中で子どもたちへ命の尊さと、平和の大切さを教えている。	
20 12/22	南山城村	総務課 土井	特になし	¥0	実施していない	実施していない	
21 12/22	宮津市	総務室秘書広報係 西山	・広報誌や懸垂幕等による啓発活動。 ・核実験実施国への抗議声明文の送付。	0円	なし		
22 12/27	向日市	政策企画室政策協働課	「向日市民平和と人権のつどい」の開催。内容:・京都放送劇団 朗読「おこりじぞう」、放送劇「送り火」 ・平和コンサート	587,000円	向日市原爆被災者の会の活動に対し、60,000円の補助を行った。	・保育園児の作成した折鶴を原爆の子の像に献納した。 ・小学生を対象に平和書道展を開催した。	・向日市文化資料館において毎年「くらしの中の戦争展」を開催している。
23 12/22	八幡市	政策推進部人権同和啓発課 神村	・平和啓発の充実(平和の大切さを少しでも多くの市民に訴えるため、各事業を実施) 平和の折鶴事業(7月中)、ヒューマンシネマ「男たちの大和」・平和大使結団式(7/26)、平和大使(中・高生代表)派遣事業(広島平和記念式典への参加、8/5~6)、平和のつどい(木村千鶴さんの一人語り、9/28)、非核平和都市宣言啓発塔の設置(京阪八幡市駅前、12月)、八幡市非核平和都市推進協議会(ピース八幡)活動の充実、米国臨界前核実験抗議、北朝鮮核実験抗議声明	800千円		・市内中・高校生による平和大使派遣事業(広島平和記念式典参加・語部さん講演、平和の折鶴奉納、平和資料館見学等の平和研修を実施。 ・平和大使報告会を平和のつどいにて実施(平和大使派遣事業での感想報告)。 中学校への平和啓発パネル(平和大使が広島で撮影した写真パネル)の貸出し。	
24 12/22	与謝野町	総務課 松本	特になし	なし	なし	なし	平成19年度以降、非核平和宣言等について協議していく予定であり、事業の展開についても今年度については何も行っていません。